



地域連携センター Newsletter

ごあいさつ



地域連携センター長 横山京子

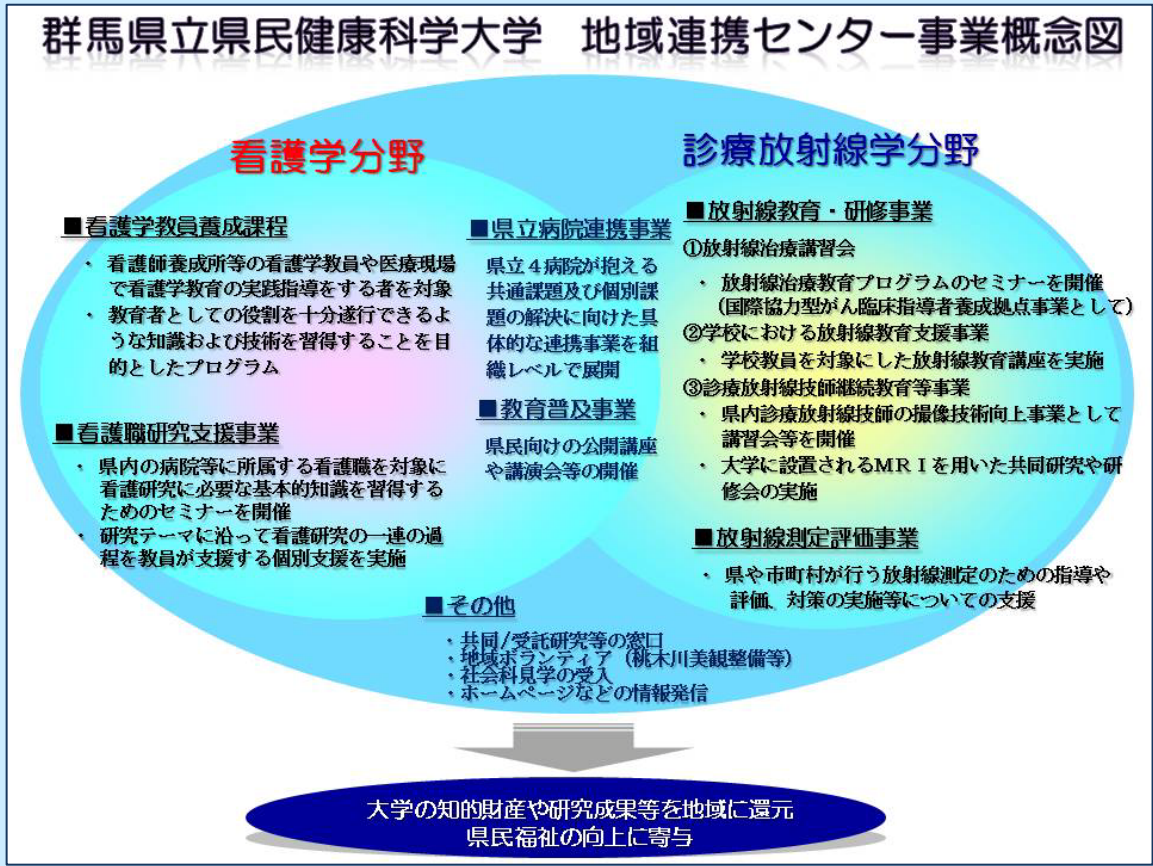
●桃ノ木川のほとりの「地(知)の拠点」を目指して
 地域連携センターの発足から満一年。本学は、“Think globally, Act locally” すなわち、「グローバルな視野を持ちつつ、群馬県に軸足を置いて着実に行動する」をモットーに下記の事業を展開しています。保健医療専門職の教育研究および県民の皆さまとの交流の拠点となるべく、努力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

このたび、『ニュースレター第1号』を発行しました。このニュースレターでは、最新のトピックスや地域連携センターの活動状況をご報告していきたいと思っています。地域の皆さまからもご意見、ご要望等をぜひお寄せください。

【PROFILE】千葉大大学院修了。博士(看護学)。看護師、看護学短大助教授を経て、2005年より本学生涯発達看護学教育研究分野(乳幼児期学童期領域)教授。2011年から13年まで附属図書館長。

事業紹介

本学地域連携センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民の皆様をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民福祉の向上に寄与することを目的として、平成24年度に新規開設されました。主要6事業を中心に、様々な地域貢献活動に取り組みます。



【看護学教員養成課程】

看護の道に進もうと思って学ぶ初学者への教育は、看護師養成施設の教員だけでなく病院や訪問看護ステーションなどの施設の看護師が携わります。本大学の看護学教員養成課程は、教育施設や医療施設で看護学教育に携わる方々を対象に24年度に開講して16名が修了し、現在は2期生17名が学んでいます。1期生は、看護学教育の現場で活躍する中、新たな疑問や課題を解決するため卒業後も継続研修や学会参加などを通して継続して学び続けています。



看護学教員養成課程を担当する眞鍋准教授



演習に取り組む第1期生

Message 第1期修了生メッセージ

富士重工業健康保険組合太田高等看護学院 飯塚 裕子

今年4月に母校の専任教員となり、先輩教員の支援を受けながら講義や実習の授業を経験しました。看護学教員養成課程において学んだ、授業展開の基本的な考え方を参考に、「学生の学習目標達成にむけ、教員は何をすべきか」という意識をもって、昨年の学習を振り返りながら実践しています。授業展開の方法はもとより、実習における学生の学習行動や、青年期にある学生の特徴について学んだことは、実習という緊張度の高い状況にある学生を理解し、学習支援する上で非常に役に立っています。「昨年の学習」は「戻るところ」であり、とても心強いです。

高崎総合医療センター附属高崎看護学校 林 裕子

現在、私は臨地実習指導を中心に教育活動を行っています。実習指導案の必要性(学習者が効果的に学習できるような工夫・一貫した教育的意図を持った指導の実施)を学び、実習前には必ず実習指導案を立案し関わることで、学習目標達成に向け一貫した指導が行えていると実感しています。また、教育する中で、悩んだり困ったりするときには必ず教育理念・目的・目標を確認することにしています。これは教員養成課程の初めに学習したことであり、統一した教育を行うため、また期待する卒業生像に向けて支援していくために必要な事であると実感しているからです。

※その他の事業については、次号以降でご紹介いたします。

お知らせ

第2回公開講座 「MRI装置の話」参加者募集中!

本学では平成24年度に最先端の画像検査機器であるMRI装置を導入し、群馬県内の診療放射線技師の継続教育事業や学生の実習や研究などに利用してまいりました。

今回、新たに導入いたしましたこの検査装置を県民の皆様にも公開するとともに、医療で用いられるMRI装置の概要とその臨床利用および研究利用がどのようになされているのかをわかりやすく解説いたします。

【日時】平成25年9月28日(土) 14時～16時

※MRI室の見学は10名ごとの入れ替え制となりますので終了時間は前後する場合があります。

【会場】群馬県立県民健康科学大学 第22講義室及びMRI室

【対象】県民の皆様(どなたでもご参加いただけます)

【定員】50名(先着順)

【受講料】無料

【申込期限】平成25年9月20日(金)

【申込方法】本学ホームページからお申し込みください。また、はがき、FAX、電話でもお申込みいただけます。

* 第3回公開講座は、乳がんをテーマにした内容で開催予定です。詳細が決定次第、本学ホームページ等でお知らせいたします。